

元気な71名の1年生が入学してきました。
入学式そして歓迎遠足も予定どおり実施されました。
これから運動会の開催に向けて準備を進めていきます。
校長 重松 宏明



4月13日、71名の新1年生が本校に入学してきました。6学年のなかで一番児童数の多い学年となります。近年、上久原の児童数が増えており学校全体の児童数も少しずつ増えてきています。1年生は、あと3人多いと3学級でのスタートとなるところでした。今後人数が増えると(現1年生は)3学級になる可能性もあります。

入学式は、コロナ感染の予防をとりながら、約30分程度に時間を短縮しての実施でした。とても落ち着いた態度で話をしっかり聞ける71名の1年生で、これからの成長をととても楽しみに感じました。今年度は6年生も最上級生として、式典前後の1年生のお世話をするために入学式に出校してもらいました。式典が行われている間は、教室でタブレットを使って式の様子をオンラインで見ました。1年生が入場する時や6年生を代表しての篠原君と矢部さんの歓迎の言葉が終わると一緒に拍手をして喜び合っていたそうです。教室で引率していた担任の先生からは、「一緒の場所には居られなかったですが、6年生みんな入学式にお祝いの気持ちをもって参加していました。」と報告がありました。今年の6年生は、個性豊かでパワフルかつやさしい6年生です。コロナの影響で、今年度も学校の活動が不透明ですが、小学校最後の1年間、久原小学校をしっかりとリードして活躍してくれると思います。



【第149回 入学式の様子】

4月30日には歓迎遠足が行われました。6年生に手を引かれ1年生が歩いている姿を2年ぶりに見ることができました。上久原公園までは30分ほどで着きましたので、公園でたっぷり遊ぶことができました。先生方も子どもたちの鬼ごっこに混じって走り回っていました。歓迎遠足の目的どおり、子どもたちは遠足の楽しさを満喫できていたようです。



さて、気になるのは5月29日(土)に予定している運動会です。4月末の段階では、久山町は、小学校、中学校とも、運動会、体育会については、午前中のみ

の開催という方向で準備を進めています。騎馬戦をはじめとした体を接触する競争遊技や組体操は、今年度は実施できず残念ですが、プログラムや実施の仕方を工夫しながら、子どもたち、そして保護者、地域の皆様に喜んでいただける運動会にしていきたいと考えています。運動会の練習は5月10日(月)からはじめていきます。

なお、連休を終えてコロナの感染状況が悪くなれば、予定が変わることもあります。その時はあらためて連絡させていただきます。

5月の行事予定

- 3日(月) 憲法記念日 4日(火) みどりの日 5日(水) こどもの日
 6日(木) 安全の日 全校朝の会
 7日(金) 発育測定(5-1) 委員会活動 校外学習(2年)
 10日(月) 発育測定(5-2)
 11日(火) 避難訓練
 13日(木) 代表委員会 首羅山登山(6年)
 14日(金) 運動会係活動(予定)
 15日(土) 土曜授業 1年生学習参観【全校下校11:50】
 18日(火) 運動会全体練習
 19日(水) Oの会 漢字がんばり週間(~6/2)
 20日(木) 道徳推進の日(挨拶運動・給食) 運動会係活動 米米大作戦【種まき】(5年)
 21日(金) 運動会全体練習3
 24日(月) 運動会リハーサル
 27日(木) 全国学力・学習状況調査(6年生)
 28日(金) 運動会準備
 29日(土) 大運動会(雨天順延) 特別時制
 31日(月) 振替休日(29日の振替)



下校予定時刻

月曜日	1・2年生 14:50	3~6年生 15:35
火曜日	全学年 14:50	
水曜日	1~3年生 14:50	4~6年生 15:35
木曜日	1・2年生 14:50	3~6年生 15:35
金曜日	1~3年生 14:50	4~6年生 15:35

※1~4年生は委員会活動時は14:40

下校予定時刻は変わることもあります。各学年や学級の通信で御確認ください。

~参観ありがとうございました~



【間隔をあけての学習参観の様子】

家庭訪問・個人面談

ありがとうございました

4月17日(土)の学習参観にはコロナ禍での諸対策にご協力いただきながらの参観ありがとうございました。

本年度はこれまで通りの家庭訪問と学校での個人面談という形で実施しましたが、それぞれ約半数ずつの実施でした。たいへん有意義な場をもつことができました。ご協力ありがとうございました。

◆◆◆◆ 朝の交通指導・見守りありがとうございます ◆◆◆◆



本年度も毎日たくさんの地域や保護者の皆様に見守りをいただき、子どもたちは安心して学校に登校することができています。心から感謝申し上げます。

気持ちのよい挨拶を交わしながら、地域や保護者の皆様とのコミュニケーションを大切にできる子どもたちを育ててまいります。安全や健康に互いに配慮しながら明るい地域づくりのできる子どもに育つよう、学校・地域・保護者で連携を密に図ってまいります。

どうぞよろしく申し上げます。

第26回 日教弘教育賞 最優秀賞受賞記念

受賞校：福岡県久山町立久原小学校

第26回 日教弘教育賞 表彰式



快挙です
最優秀賞を受賞

支部長挨拶

公益財団法人 日本教育公務員弘済会

福岡支部 支部長 大西 浩明

見事、本県糟屋郡久山町の久原小学校が、「日教弘教育賞事業」において、最優秀賞の栄誉を受けました。日本全国47都道府県の各県弘済会から推薦を受け応募された論文2,440篇の中で、文科省視学官を委員長とした日教弘教育賞選考委員会で厳正な審査を経て、満場一致で、第一位最優秀賞に選考されました。これは、65年の歴史を持つ弘済会福岡支部創立以来、初めての快挙であります。コロナ禍で暗いニュースが多い中、大変喜ばしい限りです。本来であれば、東京のホテルで約200名の関係者列席の中、盛大に表彰式が執り行われ、受賞者による記念講演がなされる予定でしたが、コロナの感染拡大の防止の観点から、残念ながら中止となりました。それに替わりまして3月17日に日教弘本部岩田將之理事長が久原小学校に出向き、校内での授賞式が町長・教育長・教育委員・全職員・弘済会関係者の前で執り行なわれましたことをご報告させていただきます。表彰状と賞金五十万円が重松安明校長に授与されました。

今回の受賞を記念して、やすらぎ春号の臨時増刊号を発行し、受賞論文や授賞式の模様を掲載しますので、是非、目を通していただきたいと思います。研究主題は「業務改善をめざした職員研修の進め方」で、副題は「メンタリングによる研修の運営を通して」です。メンタリングやコーチングの手法を駆使し、多忙を極める教職員の働き方改革にも通ずる汎用性の高い論文であります。

久原小学校で実践されたこの手法が、福岡県下の各学校に伝わることにより、近年多忙を極める学校の先生方の一助となり、ゆとりをもって、教育愛に満ちた眼差しを子供たちに向けていただける大きな原動力となること信じてやみません。

町長挨拶

久原小学校受賞 お祝いメッセージ



久山町町長 西村 勝

久原小学校の重松宏明校長、教職員の皆様、このたびは、日教弘教育賞の最優秀賞受賞、誠におめでとうございます。本町から栄誉ある賞を受賞したことを町長として大変誇らしく思います。

この久山町は、人口9,000人ほどの小さな町ですが、政策として開発や人口の抑制を行い、自然と歴史、地域の人々のつながりを大切に守る独自のまちづくりを続けてきました。その結果、「SDGs」を体現しているまちとして評価されています。そして、現在では、更なる発展をめざして、「人づくり」に注力しています。

そのような中で、重松校長先生をはじめ、久原小学校の先生方が、教職員の指導力向上、働き方改革の実現という明確なビジョンをもち、校長先生のリーダーシップのもと、全教職員で工夫して研修スタイルを築き上げられ、今回の栄えある受賞につながったことは、本町にとっても大変嬉しいニュースであります。

今後とも、様々な教育課題の解決に向けて、先生方の創意工夫を期待すると共に、本町の子どもたちの健やかな成長をめざして、久原小学校のますますの充実を願っています。

教育長挨拶

学校改善に 一条の光



久山町教育委員会 教育長 安部正俊

重松校長先生をはじめ久原小学校の教職員の皆様、このたびは、日教弘教育賞最優秀賞受賞、誠におめでとうございます。この研究の成果は、これからの学校経営と教職員の働き方改革の一つのモデルとなります。これまでの皆様の不断の努力に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

現在の教育現場は、大量退職・大量採用に伴い、若年教員の育成等、人材育成の在り方が問われています。また、先生方の長時間勤務は深刻であり、働き方改革は待ったなしですが、これ以上の業務改善は極めて困難な状況です。

久原小学校の取組は、ある意味、学校教育への福音となるであろうと思います。学校経営上の課題も複雑化・多様化している中で、人材育成に効果を発揮し、先生方が主体的に自分のペースで研修に打ち込めるシステムを創造されたことは、学校改善に一条の光が差してきたように思います。

今後も更に研究に励まれ、久原小学校の教育がますます充実することをお祈り申し上げます。

